

「別紙1-2」電子図書館システム機能仕様(要望)書兼回答書<デジタル庁モデル版>

■ 概要

電子図書館システムは、若年層や遠隔地の住民による図書館利用の減少、物理的資料の劣化及び職員の業務負担を解決するための、図書館プラットフォームです。これにより、誰もがいつでもオンラインで書籍等にアクセスでき、利用機会の増加と学習機会の拡大が期待されます。デジタルアーカイブや教育コンテンツの提供に加え、マーカーや読み上げ機能による読書支援も可能です。

- ・(注意1) 本表の機能全て、対応可能を奨励する。仕様機能を標準で満たせない場合は、カスタマイズ、オプションでの対応も可とする。
- ・(注意2) 優先交渉権者となり、契約を締結することとなった場合、改めて、機能の対応の有無について、図書館側と確認を行うこと。
- ・(注意3) 表右側の★回答に下記のとおり○△×を記入(プルダウン)すること。(※全項目を記入することが必須)
対応が可能…○、一部対応が可能…△、対応不可…×
- ・(注意4) 「別紙1-1」図書館情報システム機能仕様(要望)書兼回答と同じ設問があった場合でも、本表に回答を記入すること。

要件定義								★回 答	
機能分類体系					連番	要件(案)	対応可否 ※(注意3)を 参照 (プルダウン)	「備考欄」 ※オプション等で対応する場合など特記があれば、 可能な範囲で記載ください。	
大項目		中項目		小項目					
■ 基本要件									
1	共通事項	1	サービス提供環境	1	機器環境	1	利用者の操作機器環境 ・HTML Living Standard準拠のブラウザに対応したシステムであって、端末標準搭載の最新のブラウザであればデバイスに依存することなく閲覧できること。 ・閲覧端末として、パーソナルコンピュータ（OS:Windows及びMac）及びスマートフォン・タブレット（OS:is及びAndroid）に対応していること。 管理者の操作機器環境 ・クライアントOSはWindows 11、ブラウザはMicrosoft Edgeで運用可能なこと。 利用環境においては、Java、ActiveX、.NET Framework等のプログラムを別途必要としないこと。必要とする場合は、その理由を明確に示すこと。		
	共通事項		サービス提供環境		機器環境	2	利用者がビューワ等のアプリケーションをインストールすることなく電子書籍が利用できること。		
				2	ネットワーク環境	3	利用者側環境 ・インターネットで動作すること 管理者側環境 ・インターネットで動作すること。 通信 ・インターネット上の通信経路においてはSSL/TLS通信による通信の暗号化を行うこと。 提案する環境が自治体の希望と異なる場合は、その理由やネットワークセキュリティ面で問題ないことを示すこと。		

要件定義						★回 答		
機能分類体系					連番	要件(案)	対応可否 ※(注意3)を 参照 (ブルダウン)	「備考欄」 ※オプション等に対応する場合など特記があれば、 可能な範囲で記載ください。
大項目		中項目		小項目				
共通事項		サービス提供環境	3	データ管理	4	サービスにおいて登録されるデータは、デバイス内には情報は保有せず、サービス提供クラウド環境（データセンター内）でデータを保有すること。		
共通事項		サービス提供環境		データ管理	5	・データのバックアップはクラウド環境上でバックアップを取得できる体制があること。 ・バックアップはバックアップは自動で随時更新され、週次で3世代以上保有すること。 ・提案する環境が自治体の希望と異なる場合は、その理由やデータセキュリティ面で問題ないことを示すこと。		
共通事項		サービス提供環境	4	サービス提供時間	6	原則、24時間365日利用可能とすること。ただし、保守等の予定された停止については、この限りではない。		
共通事項	2	デザイン・操作性	5	デザイン	7	表示画面上の項目配置や色使い等、誰もが利用しやすいユニバーサルなデザインであること。		
共通事項		デザイン・操作性	6	操作性	8	利用者・管理者双方の操作性と利便性を考慮し、操作性が高く、効率的な運用ができること。		
共通事項		デザイン・操作性	7	アクセシビリティ	9	「JIS X8341-3：2016」が規定する「レベルAA」に準拠するなどアクセシビリティに配慮したデザインであること。		
			8	視覚障害者支援	10	サービスを円滑に利用するためのユーザ補助機能として、次のような機能を用意できること。 ・視覚障がい者がスクリーンリーダーを利用して、自力でシステムへのログイン、検索、貸出、閲覧、返却等が簡易に行えるサイトを無償で提供すること。（マウスレスでの簡易操作が可能であること） ・「視覚障がい者向け利用支援サイト」からビューワを起動するとtabキー操作で移動できる各種操作ボタンが表示されること。その操作ボタンにより、マウスレスで各種操作が行えること。各種ボタンにはショートカットキーが割り当てられていること。 ・音声読み上げ機能に対応しているコンテンツのみを対象とした検索が行えること。 ・通常版サイトと同一のID/パスワードを使用することができること。また健常者と区別することなく同一のタイトルが利用できること。		

要件定義							★回 答		
機能分類体系						連番	要件(案)	対応可否 ※(注意3)を 参照 (ブルダウン)	「備考欄」 ※オプション等に対応する場合など特記があれば、 可能な範囲で記載ください。
大項目		中項目		小項目					
共通事項		デザイン・操作性	9	多言語対応	11	・表示言語を利用者の任意に基づき変更できること。（英語・ポルトガル語）			
共通事項	3	情報セキュリティ	10	個人情報・情報セキュリティの遵守	12	・当市が定めた情報セキュリティポリシー、個人情報保護条例等の各種規定及び関係法令を遵守すること。			
共通事項		情報セキュリティ	11	システムログ	13	エラー情報の把握やUI/UXの改善のため、必要なログを取得すること。			
共通事項		情報セキュリティ	12	アクセス・操作ログ	14	管理システムのアクセスログなどを取得すること。			
共通事項		情報セキュリティ	13	不正プログラム対策	15	システム（サービス）の稼働環境及び開発・テスト環境においては、コンピュータウイルス等不正プログラムの侵入や外部からの不正アクセスが起きないように対策を講じるとともに、それら対策で用いるソフトウェアは常に最新の状態に保つこと。			
共通事項		情報セキュリティ	14	不正プログラム対策	16	システム（サービス）の稼働環境及び開発・テスト環境で用いるOSやソフトウェアは、不正プログラム対策に係るパッチやバージョンアップなど適宜実施できる環境を準備すること。			
		情報セキュリティ	15	その他セキュリティ対策	17	プライバシー保護の観点より、個人情報が含まれるデータの保護対策については、万全の措置を行うこと。			
共通事項	4	利用規約等	16	プライバシーポリシー	18	プライバシーポリシーを表示すること。			
共通事項	5	統計機能	17	－	19	システム・サービスの運用状況や利用状況を定期又は任意の時点で集計する機能があること。 ・貸出点数統計が行えること。 ・利用者情報に生誕年・性別を登録することにより、年代別・男女別統計が行えること。 ・日本十進分類法による分類別統計が行えること。 ・実利用者統計が行えること。			
共通事項	6	関係法規制への対応	18	－	20	サービスの稼働、運用・提供に係る関係法規制を遵守するとともに、常に最新動向を把握し、適宜必要な見直し・改善を実施すること。			

要件定義							★回 答		
機能分類体系						連番	要件(案)	対応可否 ※(注意3)を 参照 (ブルダウン)	「備考欄」 ※オプション等に対応する場合など特記があれば、 可能な範囲で記載ください。
大項目		中項目		小項目					
2	資格管理	1	利用者側アカウント管理	1	アカウント設定方法・認証方法	21	利用者が、電子図書館の利用資格を判定する仕組みを有すること。 ・利用者毎にID・パスワードを発行する (IDは、電子図書館専用番号のほか、既存の図書館システムの貸出券番号または、学校利用を想定した学校専用番号など導入時に選択又は利用ができること。) ・既存の図書館システムでの認証された利用者のみアクセスできるよう制御されている		
	資格管理		管理側アカウント管理	2	管理情報	22	・管理者アカウントを用いて管理用アカウントを設定できること。		
■ 類型毎に異なる機能要件									
3	利用者機能	1	サイト	1	サイト構成	23	自治体専用の電子図書館トップページを作成すること。		
	利用者機能		サイト		サイト構成	24	・お知らせを確認できること。 ・新着案内を閲覧できること。 ・特集を閲覧できること。 ・詳細な日本語オンラインマニュアルがあること。(困ったときの対処法含む)		
	利用者機能	2	書籍検索	2	検索方法	25	・簡易検索と詳細検索を用意すること。 ・詳細検索では、以下の項目で絞り込みできること。 ・コンテンツの種類、読上げ可否、対応デバイスによる絞り込みができること。 ・ジャンル(分類等)による絞り込みができること。		
	利用者機能	3	貸出	3	コンテンツ貸出	26	コンテンツ一覧画面又は詳細画面から、容易にコンテンツの貸出・閲覧ができること。		
	利用者機能		貸出		コンテンツ貸出	27	コンテンツを選択するとコンテンツの書誌情報が確認できること。		
	利用者機能		貸出	4	試し読み	28	コンテンツの試し読みができること。		
	利用者機能	4	予約	5	予約	29	コンテンツが貸出中の場合は、予約ができること。		
	利用者機能	5	返却	6	返却	30	貸出期間が過ぎたコンテンツは、自動的に返却されること。		
	利用者機能	6	マイページ	7	利用者自身のポータルページ	31	・マイページ機能があり、以下のことができること。 ・貸出一覧、予約一覧確認 ・返却 ・貸出延長 ・予約取り消し		

要件定義							★回 答			
機能分類体系						連番	要件(案)	対応可否 ※(注意3)を 参照 (プルダウン)	「備考欄」 ※オプション等で対応する場合など特記があれば、 可能な範囲で記載ください。	
大項目		中項目		小項目						
利用者機能	7	ビューワ	8	ビューワ機能	32	貸出手続きが完了したらワンクリック等の簡単な操作で借りた電子書籍を閲覧できること。ただし、ビューワ機能においては、電子書籍のタイプ（リフロー型コンテンツ、フィックス型コンテンツ）や出版社の許諾等により対応できない電子書籍があることは、差支えない。				
				ビューワ機能	33	目次を確認することができ、そこから該当章へジャンプできること。				
				ビューワ機能	34	しおりを複数設定でき、設定したしおりにジャンプできること。				
				ビューワ機能	35	ハイライト（マーカー）とメモをセットでき、設定したハイライトに移動することができる。				
				ビューワ機能	36	しおりとハイライト（マーカー）は電子書籍を返却するまで状態を保持できること。また、しおりは電子書籍が返却された後、次の利用者が利用する際は状態がクリアされること。				
				ビューワ機能	37	フィックス型コンテンツは誌面全体の拡大表示ができること。				
				ビューワ機能	38	文字の大きさが変更できること。				
				ビューワ機能	39	・リフロー型コンテンツは色反転表示ができること。（注2）				
				ビューワ機能	40	・書籍中の任意の位置に移動できること。				
				ビューワ機能	41	・書籍を閉じて、再度読む場合は閉じたページが開かれること。（注2）				
				読み上げ機能	9	読み上げ機能	42	音声読み上げ機能があること。		
						読み上げ機能	43	読み上げスピードを変更できること。		
		4	管理者機能	1	トップページ機能	1	トップページ機能	44	トップページのレイアウト、色、ロゴ画像を変更できること。また、コンテンツのジャンルの登録・変更・削除ができること。（管理者機能ではなく事業者による対応でもよい。）	
	管理者機能		トップページ機能	2	お知らせ表示等	45	利用者へのお知らせ情報を表示することができること。お知らせ情報は表示順の変更や削除ができること。（管理者機能ではなく事業者による対応でもよい。）			
管理者機能	2	利用者管理	3	利用者のアカウント情報の登録・修正・停止（廃止）	46	・利用者の登録及び修正、削除が可能であること。				
						・利用者一括登録機能があること。				
		利用者管理	4	サービス利用状況の確認	48	・利用者の貸出・予約状況が確認できること。				

要件定義							★回 答			
機能分類体系						連番	要件(案)	対応可否 ※(注意3)を 参照 (プルダウン)	「備考欄」 ※オプション等で対応する場合など特記があれば、 可能な範囲で記載ください。	
大項目		中項目		小項目						
	管理者機能	3	資料登録	5	独自資料	49	・図書館側で独自資料の登録・変更・削除が可能なこと。 ・独自資料のストレージを10GB以上提供すること。また、ストレージ容量の追加が可能なこと。 登録できるフォーマットは、ePUB、PDF等フォーマットに対応していること。			
	管理者機能	4	業務統計機能	6	業務統計機能	50	・以下のような各種統計を集計することができ、CSVファイル出力が行えること。 ・貸出点数統計が行えること。 ・利用者情報に生誕年・性別を登録することにより、年代別・男女別統計が行えること。 ・日本十進分類法による分類別統計が行えること。 ・実利用者統計が行えること。			
5	電子書籍のコンテンツ	1	コンテンツについて	1	全般	51	・コンテンツは別途調達とする ・以下に定める要件を満たしていること。			
	電子書籍のコンテンツ		コンテンツについて		2	コンテンツの許諾	52	コンテンツは、公立図書館での利用が許諾された商用コンテンツであること。		
	電子書籍のコンテンツ		コンテンツについて		3	コンテンツのライセンス形態等	53	・期限設定なし、有期限、貸出回数等様々なライセンス形態の電子書籍に対応できること。		
	電子書籍のコンテンツ		コンテンツについて		4	コンテンツのライセンス形態等	54	・別紙2「電子書籍コンテンツ導入割合」に応じた種類の電子書籍が提供できること。		
	電子書籍のコンテンツ		コンテンツについて		5	コンテンツ数	55	・商用電子書籍コンテンツ（和書）の提供可能タイトル数10,000点以上であること。内容は各ジャンルにわたっていること。洋書が提供可能であること。		